

(書式 2-1-7)

相続税の負担について言及する場合の標準遺産分割協議書

遺産分割協議書

被相続人〇〇〇〇(大正〇〇年〇〇月〇〇日生、平成〇〇年〇〇月〇〇日死亡、
本籍〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地、最後の住所〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
丁目〇〇番〇〇号)の遺産について、共同相続人妻〇〇〇〇、同長男〇〇〇〇及
び同長女〇〇〇〇は、全員による協議の結果、次のとおり遺産を分割し、取得す
ることを合意した。

1 妻〇〇〇〇は、次の遺産を取得する。

所在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目
地番 〇〇番
地目 宅地
地積 〇〇〇・〇〇平方メートル

所在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
家屋番号 〇〇番
種類 居宅
構造 木造瓦葺 2階建
床面積 1階 〇〇・〇〇平方メートル
2階 〇〇・〇〇平方メートル

2 預貯金は、共同相続人の法定相続分により分割し、その全額を引出し、内金
〇, 〇〇〇万円を相続税の支払いに充当し、残額は登記等の諸費用に充当する。

3 次の遺産は、共同相続人の法定相続分による持分共有とし、相続税延納のための担保とする。

所 在 ○○県○○市○○町○○丁目
地 番 ○○番
地 目 宅地
地 積 ○○○・○○平方メートル

所 在 ○○県○○市○○町○○丁目○○番地

家屋番号 ○○番

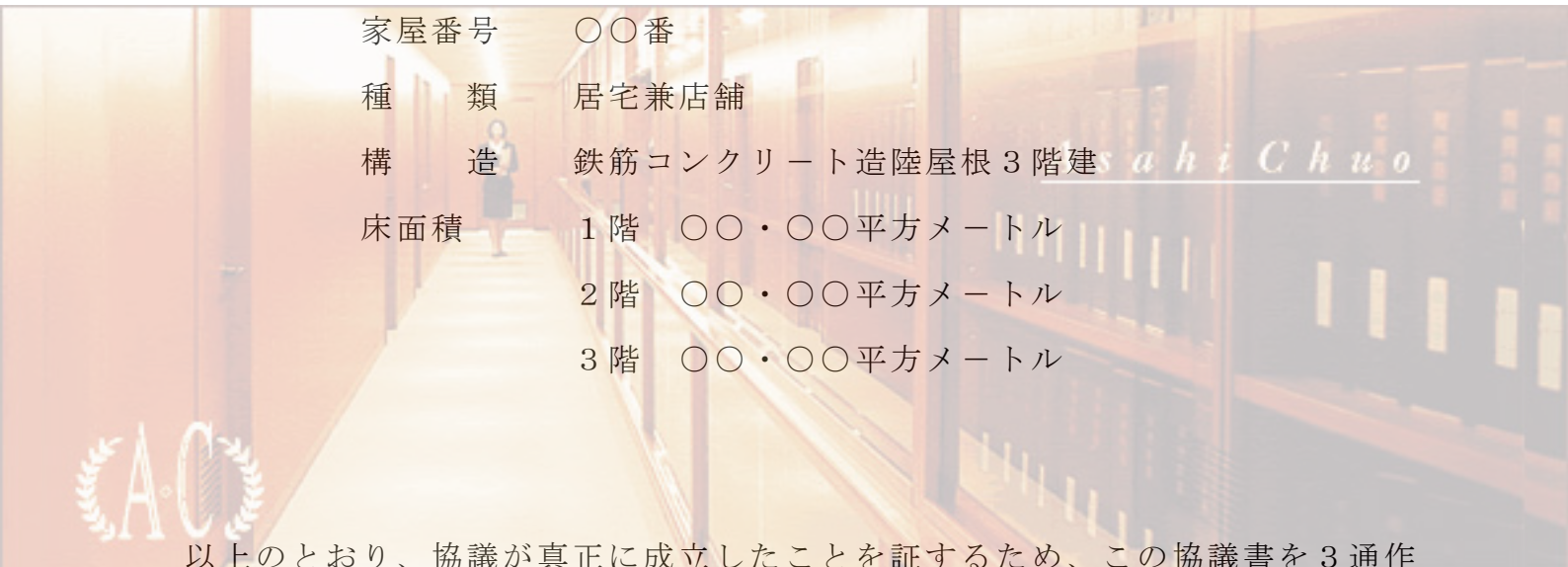
種 類 居宅兼店舗

構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 *s a h i C h u o*

床面積 1階 ○○・○○平方メートル

2階 ○○・○○平方メートル

3階 ○○・○○平方メートル



以上のとおり、協議が真正に成立したことを証するため、この協議書を3通作成して署名押印し、各自1通を保有する。

平成○○年○○月○○日

○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号

○ ○ ○ ○ 印

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
〇 〇 〇 〇 印

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
〇 〇 〇 〇 印



解説

相続開始時の相続財産の外に、生命保険金、死亡退職金があれば、「みなし相続財産」として相続税の課税対象となる。

相続税の申告期限までに遺産分割をしなかった場合、法定相続分に従って、各相続人が相続税を支払う。その後、遺産分割がなされ、各相続人の取得した財産が、法定相続分と異なった場合、過少な相続税を支払っていた者は修正申告をし、過大な支払いをしていた者は更正の請求を行うことができる。

